

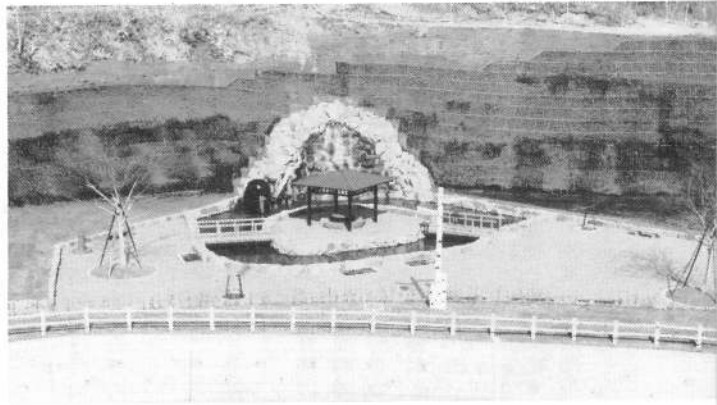
'90

ふれあい

No.235号

4月号

ふれあい橋を渡るとファミリー公園
東屋のとなりで水車がまわる!!



21世紀に向けて たくましく、人間性豊かな まちづくり

限りある財源をより効果的に生かし、
振興事業推進を!!

平成
2年度

町政執行方針



町長 相澤二三男

平成二年度 町政執行方針

三月十三日から開かれた平成二年町議会第一回例会において相澤町長は、平成二年度の町政執行方針を、また佐々木教育長から教育行政執行方針が述べられましたので、紹介いたします。

平成二年第一回町議会開会にあたり町政執行の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきます。と思います。

昨年、町民皆様の暖かいご支援とご厚情を賜り町長に就任して以来、清潔で公正なガラス張りの町政を心がけ、この一年間曲がりなりにも重責を全うして参りました。これか

らも町民との対話と開かれた町政を進め、議会議員皆様のお力添えを意いたしながら町民の幸せと活力ある町づくりのため新たな決意のもとに邁進して行く所存であります。さて、世界は今、ソ連東欧圏の急激な変化に見られるように、平和と軍縮そして協調をもとに新しい国際秩序の形成に向かつており、また、繁栄の陰には地球的な規模での環境破壊など、人類にとってかけがえのないものが失われてきております。こうした流れの中で経済大国になった日本が世界の平和と繁栄に果す

役割は大きなものがあると思われまます。

一方、国内では内需拡大政策の浸透により平成経済の門出と称される好景気が持続されており、道内経済も観光産業にあっては、かつてない程度の潤いを見たのでありますが、農林水産業においては、国際的な環境の変化と強い輸入攻勢により、誠に厳しい状況におかれております。また、消費税や政治改革を求める国民的世論の高まりの中で衆議院議員総選挙が過般実施されたのでありますが、今後の国の諸施策の方向に大きな変化を伴う岐路となるのではないかと思慮されるところでございます。

当町におきましては、住民生活の安定と住みよい活力ある町づくりのために健全財政を堅持しつつ、基幹産業の漁業振興を始め、建設事業、福祉事業等を積極的に進めて参りました。また、昭和六十二年より施工の町民公園もようやく完成を見ており、多くの町民皆様に憩いの場としてご利用いただけるものと確信を致しております。

今年度は二十一世紀に向け

て、たくましく人間性豊かな町づくり実現のため、限りある財源をより効果的に生かし漁業基盤の整備、漁家経営の安定と水産加工、商工業の振興、更には、漁業協同組合を初めとする各種団体等公共機関と密接な連携の基に町行政に対処するとともに豊かな観光資源の活用による観光開発の振興、国の施策による地方活性化のための、ふるさと創生事業も町民から寄せられたアイデアを生かし着実に進めて参ります。

昨年度から地域活性化を図るため、大手企業誘致を進めて来たところでありましたが、幸い、字本別の旧飛行場用地跡にトヨタ自動車株式会社の子会社が進出が内定し、現在その誘致条件、整備を進めているところでありまます。この企業誘致が成功することにより、人口の増加を始め地元経済に与える影響、更には、雇用の拡大、観光産業にも大きくつながると確信し、町議会ぐるみで全力を傾注して取り組んで参りたいと存じます。

また、高齢化社会に対応する社会福祉の推進、生活環境の整備、保健衛生の確立を促

漁業振興 について

進し、教育の充実とスポーツの振興を図って参ります。

特に恵まれた海がありながら、泳ぐ場所も少なく、危険な事

故の発生を防止し、青少年の健全育成と健康増進の見地か

ら町民の念願であります町民プールの設置を本年度の大き

な事業の一つとして新年度早々に着手し八月より利用いた

だくため作業を進めているところでありませう。建設規模は

鉄骨造、一部二階建て面積は一、三九七・八七平方メートルとなつており、プールは一

般用、児童用、幼児用が併設されております。鹿部町の特

性を生かし温泉熱を利用したユニークな施設となります。

今まで申し述べたことを踏まえながら平成二年度の予算

編成をいたしました。町発展のため適切な諸施策の推進

に積極的に取り組み、多様化する行政需要に対応すると

もに行政の簡素化、効率化についても不断の努力を傾け、

希望と活力に満ちた町づくりのため町民皆様の期待に応え

て行く所存であります。

それでは各論について申し上げます。

水産業は国民の必要として

いる動物蛋白質の約半分を供給し健康で豊かな日本型食

生活の一翼を担う重要な産業であり、また、漁村において

活力ある地域社会を形成する上でも大きな役割を担って

おります。しかしながら、水産業をめぐる情勢は国際的な二

〇〇海里体制の定着等による海外漁場の制約、我が国周辺

水域の資源状態の悪化等、極めて厳しい状態が続いており

ます。特にスケソウ刺網漁業の重要課題である韓国漁船操

業問題は、従来の特ロール漁船の操業問題の他に、イカ流

網漁船が本道沿岸海域で操業するなど、従来とは大幅な様

相を異にしております。韓国漁船は一九九一年四月末で、

全船がオッタートロールラインから外へ撤退することにな

りますが、撤退後の安全操業を始め沖合で競合する漁船と

のトラブル防止など、新たな問題が惹起されることは今か

ら予想されております。しかし現在韓国漁船は、協定違反

の無謀かつ悪質な操業を繰り返して莫大な漁具被害を起

しており、昨年度実施した漁場管理用レーダーの資料を基

に今後関係漁協と共に国へ強く取り締まりを要請して参

たいと存じます。

養殖事業においては、長年にわたり漁場造成を進めてき

たホタテも貝毒が長期化する一方、ボイルホタテを中心に

需給バランスが崩れ、消費流通が停滞するなど混乱が続

きましたが、漁業者の努力により安価ながら生産量は伸びる

可能性を秘めております。今後は関係機関の努力により貝

毒に関係なく、長期に生産する方向を検討することが必要

と考えられます。

このような現状を踏まえながら、当町経済の最大のウエ

ートを占める漁業振興には漁協と連絡を密にし、栽培漁業

センター並びに水産試験場の指導を仰ぎながら漁業の振興

施策を推進していくよう対処して参ります。

当海域における海底地形、底質分布等の海底環境並びに海

流状況等の海水環境を調査し、漁場環境の現況を把握するこ

とにより、水産資源の見直しと、漁場開拓、しいては沿岸

漁業資源造成に必要な基礎資料を得るため漁場基本図の調

査作成を計画しております。

また、鹿部地区大型魚礁、人工礁漁場造成は継続事業とし

て実施してもらおうよう道へ要望して参ります。一方、漁場

近代化を促進するための利子補給、漁家負債整理資金の利

子補給も継続事業として実施して参ります。

次に、漁港整備であります

が、第8次漁港整備長期計画の三年目として鹿部漁港は、

東防波堤改良130m、本別漁港は、北防波堤29m、出

来洞漁港は突堤10m、東防波堤新設12mの事業が予定

されておりますが、特に本別漁港及び出来洞漁港は第8次

漁港整備計画の中で改修事業に指定されているため、張り付け予算が少なく、今後予算増額を強く要請して行かなければならないと存じます。

等の調査を始め、養鰻場建物等、水産試験場に依頼して調

査をしていただき栽培センター、水産試験場、指導所、漁

協等と充分協議検討して漁民に還元できる施設として活用

の方向を定めて行く考えでございます。特に漁場基本図事

業実施後においては、明年度以降の当海域における海藻資源の開発や栽培漁業をより促進して生産性の向上を図って参ります。

福祉と保健 振興について

急速に進む高齢化家族形態の変化などに伴ってニーズも

従来の経済的なものや施設入所を主としたものから家庭で

の家事援助や介護など人的サービスを主としたものへと移行するなど、地域住民の参加

による地域に根ざした福祉の充実が求められております。

今、高齢者が安心して暮らせることは勿論、だれでもが生き生きとした人生を送ることができる地域社会づくりが大

切であります。

昨年十二月より在宅老人の

福祉サービスタとして家庭的、環境的な理由で入浴が困難な寝たきり老人に対し、渡島リハビリの協力を得て入浴サービスタを実施致しております。

その他一人暮らしの老人を対象に生きがいを与えるための、お楽しみ会を社協と連携をとりながら実施して参りました。独居老人などに対しては今まで以上に手厚い援助サービスタの充実を図るため、家庭奉仕員を一名増員し二名体制とし、健康で潤いに満ちた快適な生活が送れるよう努めて参ります。更に、高齢者の生きがい、健康づくり対策の推進を図るため、老人クラブの育成を強化するとともに、地域の実情に即したきめ細かな在宅福祉事業の推進を図って参ります。

保健対策については、長寿社会の到来を間近にひかえ、人間の生命の尊重と健康の保持は、なにもものにも増して優先されるべきものであるという考え方の基に、疾病の予防、早期発見、早期治療を重視した包括的な保健医療サービスタが必要であります。当町における疾病を見ますと、成人病が死因の上位を占

めており、これら成人病対策として検査項目の充実を図って参りました。

自分の健康は自ら守るための健康教育を始め、疾病の早期発見、早期治療のための健康診断、家庭訪問指導、更に健康フェスタを通して、食生活の改善講習、ガンの恐ろしさ等を周知し、幅広い健康づくり対策を講じ住民の健康保持、増進を図って参ります。

環境衛生 ポイント

廃棄捨場を 早急に

一番問題となるのはゴミ処理で、町内会の協力を戴き地域衛生環境保持に努めております。特に、一般廃棄物、更にはホタテ貝殻の投棄量が年々多くなつてきており捨て場の確保に苦慮している現状であります。ホタテ養殖漁業の振興と水産加工業の発展を図る上からも廃棄物捨て場対策を早急に計画し進めて行かなければならないと考えております。

建設土木事業 の振興について

住民生活に直結する道路の整備や河川、海岸の整備など、住み良い環境づくりは行政上重要な事業であります。従いまして限られた財源の中で効果的な事業の選択が必要であり、町民の要望を適確に把握し、計画的に事業の推進を図って参る所存であります。

まず、町道の整備事業としては、鹿部海岸線、宮浜2号線、本別4号線、本別海岸線、漁協横道路線、出来潤道路線のこの6路線は継続して改良工事を行います。新規では、大岩1号線、トヨタ関連の留の沢線の改良工事の着手と、尻無川道路についても施工致します。また、昨年度から改良しております出来潤道路線の舗装工事も施工を致して参ります。

留の沢橋から大沼方向へ継続して600メートルの改良工事が計画されております。特に大沼公園鹿部線は、函館圏域を有する幹線道路であり、交通安全対策のうえからも早期改良は必要でありますので、事業の促進について最善の努力をして参ります。

国道278号線については、既にご承知のとおり函館開発建設部で鹿部町内の市街地など未改良とされている区間を整備する計画であり、昭和六十三年度から調査が進められております。

鹿部町として、今後のまちづくりや、発展の可能性を考慮し、現道拡幅が良いのか、バイパスにすべきか、慎重に選択をしなければならぬ問題でありますので、住民の意向を聞き議会とも充分協議を重ね、時間をかけて、いろいろな角度から調査をして町民の納得の行く方向で結論を出して参らなければならぬと考えております。

70メートルの改修を行いましたが、引き続き継続して道々の折戸沢橋まで改修する計画になっております。

海岸保全事業は国の第四次海岸事業五ヶ年計画で宮浜海岸と本別海岸の二ヶ所に離岸堤が継続して設置されており、宮浜海岸は全体計画の57・6%、本別海岸は28・1%が完了され海岸浸蝕防止と砂浜の回復が図られております。

平成二年度は本別海岸、宮浜海岸とも昨年程度の事業が施工されることになっております。大岩海岸の離岸堤の新規工事は、地域の方々の強い要望ではありますがなかなか厳しい状況にあります。現在まで函館土現、道の土木部など関係機関に機会あるごとに陳情して参りましたが、昨年十一月九日には、海岸事業の促進と平成三年度から始まる第五次海岸事業五ヶ年計画の中に大岩海岸を組み入れていただくため議長、組合長と共に建設省関係、そして北海道開発庁関係に陳情して参りました。特に大岩海岸の新規着工に関しては、今後とも強力に関係機関に要請をして参りたいと考えております。

中小企業商工会 の振興について

本道の経済はあらゆる分野において地域経済の担いでとして雇用提供、町発展に大きな役割を果たしております。

現在、中小企業を取り巻く経済環境は消費者意識の変化、情報化の進展、消費税の導入、消費購買力の流出等、極めて厳しい現状にあり、多くの課題を抱えているため、今後専門的立場に基づき広域商業診断を図り、二十一世紀に向け活力と潤いに満ちた魅力ある町づくり地域づくりの推進が急がれております。

広 報 し か べ
(5)
当町の場合には漁業中心の経済で漁業生産の影響によって町経済が大きく左右されませんが、水産加工も近年著しく業績を揚げ、漁業に次いで町の活力を生み出す重要な産業となっております。町としては、商工会並びに水産加工協と協力しながら中小企業の育成と、特産品、加工品等の宣伝を積極的に進め、行政的指導援助を進めていかなければならないと存じます。中小企業、商工業は現代の自由主義

市場経済の中で経済力を培い、競争に打つ勝って行かなければならない宿命にあることは言うまでもありません。これらの指導に当たる商工会の果たす役割は益々重要かつ大となつてきております。その活発な活動を促し運営を強化するため若干の助成金を増額し、更には、中小振興基金、北海道信用保証協会を利用して金融の円滑化を促進し、中小企業、商工業の活性化を図って参りたいと存じます。

林業治山及び 林道について

森林は四季おりおりに変化する豊かな自然として親しまれ、木材生産を始め林産物の供給、国土保全、水資源の涵養機能を通じ、私達人間と深くかかわっております。近年は緑とのふれあいを求め森林を利用活用した村おこしや町おこしが多くなり人々が森林に親しむ機会が増えてきており森林資源の育成は国民的課題となっております。また、当町の林業を取り巻く情勢は誠に厳しいのでありまして森林組合及び森林所有者との連携を深め保育事業、造林事業

を進めて参ります。町自体の事業としては、拡大造林事業、保育事業、森林開発公団事業を行って参ります。

治山事業では、重点地区である大岩地区は毎年継続的に実施しており、補助事業はほぼ終了しましたが、本年度も道の直轄事業として二ヶ所鹿部地区を計画しております。実施方については関係機関に強く要望して参ります。

林道事業は林道の活用を図るため毎年度継続的に林道の整備を図って参りましたが本年度はムサワ林道と常呂林道については台風による崩壊箇所を整備を行って参ります。

企業誘致 について

前段で概略を申し上げたのでありますが、昨年四月、大手企業のトヨタ自動車株式会社が二十一世紀に向けた新規事業として、航空事業分野に進出を計画し、当町の旧飛行場跡地を中心に周辺約120ヘクタールの用地に小型機離発着場、大型駐機場及び訓練場の拠点基地建設に踏み切るべき要請がなされ交渉が持たれたのであります。

町としては、将来の町発展と地域振興を進め、活性化を図るためにも歓迎するべき企業誘致であることから、町議会に諮り、企業誘致特別委員会を設置、内部体制として企業誘致対策プロジェクトチームを編成、積極的に企業誘致に対応してきたところであり

ます。平成二年度はトヨタ自動車株式会社の誘致を決定付ける大切な年度となることから、町の重要な事業のひとつとして位置付け、用地確保と諸条件の整備を図り、本年度中にトヨタ自動車株式会社との企業進出に関する契約締結を完了すべく全力を傾注し、努力して参ります。

観光振興に ついて

ふるさと創生事業で 黒松並木整備

町民の憩いの場所として昭和六十二年度から平成元年度までの三ヶ年計画で実施してきた町民公園は立派な完成を見たのであります。本年度は完成祝賀式典を開催し、町民皆様にPRを行うと共に、

今後管理体制の充実を図るため四月より十二月までの間二名の管理人を配置し町民の財産として喜ばれる施設にして行きたいと存じております。

更に、例年実施している間歌泉の公開、道々大沼公園園部線沿いの黒松並木の草刈り手入れ、特に今年度はふるさと創生事業として地域環境整備を目標とした、国道交差点から黒松街路樹を植栽整備をし、将来大沼固定公園を結ぶ観光ルートイメージアップを図って行きたいと考えております。また、今年で9回目を迎える「しかべ海と温泉のまつり」も八月中旬開催される予定となっております。地域住民の知恵と工夫やパワーによって盛り上げるよう努力して参りたいと存じております。

公害対策 について

地域が安全で快適な生活が営まれ、地域産業、経済、文化が発展していくことが望ましいわけですが、ややもすると産業経済のみに重点を置き環境を無視して行く傾向にあります。特に当町は漁業中心の産業で管理漁業が叫ばれる

昨今、公共水面からつらなり海面汚染に結び付く可能性が
あります。生活雑排水は勿論
であります。水産加工場排水
等、環境衛生の観点からも、
今後の課題として充分検討し
対処して行かなければならな
いと考えます。

折戸川鉦害については、毎
年同じような事を申し上げて
いますが、町独自でどうする
事も出来ないため、国や道の
段階で実施していただくこと
を強く要望して参ります。

交通安全対策

について

大量交通時代と言われる車
社会の中で、全国的に交通事
故が増し、過去に例のない
国の交通事故非常事態宣言が
発せられ国民総ぐるみにより、
交通事故防止活動が推進され
ております。当町においても
交通事故の防止に町民あげて
懸命の努力をしているところ
であります。残念ながら昨年
五月に交通死亡事故が発生
し、ゼロの日も1、277日
でストップしたわけござい
ます。これからの新たな記
録を立てるため、命の尊さを
再確認し、家庭や職場、関係

団体と一層の連携を深め「わ
たしも交通安全」を基本とし
て、地域住民と共に各種運動
を展開し、交通安全意識の向
上と、事故防止に努めて参り
ます。

防災対策

について

伝達網の完備

屋外拡声機13基

増設

火災や災害は予告なく突然
発生するものでありますので、
町としては、防災行政無線の
設置活用により、情報の早期
伝達を図られるよう日常の態
勢造りが必要であります。そ
のため屋外拡声機については、
平成元年度二基を設置、本年
度は十三基の設置を予定して
おり、これにより町内の情報
伝達網は完備することになり、
今後は防災訓練等の実施によ
り、地域住民の防災意識の高
揚に努めて参ります。

町史編集

平成五年度刊行

予定

当町の歴史は今を溯る事3
70有余年の歴史を後世に残
すべく、昭和六十三年度に編
集室を設け、十カ年計画をも
って、この編集に取り組み、
三年目を迎えました。刻々と
変化を早める現代社会の形
勢に追い付くため、当初の十
カ年計画を大中に早め短縮し、
五年計画をもって刊行するよ
う計画の変更を致しました。
従って平成五年度刊行の予定
で目下作業を進めているところ
であります。そのため、昨
年十月一日より経験者であり
郷土史家としても知られる嘱
託者一名を加え、開拓時代の
文章の発掘や、文献など種々
調査を進めているのでありま
すが世代交代の影響もあって
なかなか資料収集に困難を極
めているのが実情であります。
現在、編集委員のご審議を
いただき、編集順序を始め、
章の組み立てページ数の割付
もどうにか終わり、大枠の素
原稿は、明治二十年代あたり
までの人口、地名などの執筆
が上る予定であります。

町史編集により昨年度当初
予算と比較して大巾な経費が
増嵩されましたことは、刊行
年を短縮した理由によるもの

でありまして、緻密に然も正
確に調査を進める上で当然の
こととご理解いただきたいの
であります。旧家の文書その
他個人の日記、各図書館の資
料等の整理、古老座談会等を
通じ積極的に編集作業を進め、
後世に残す鹿部町史を立派な
文献として刊行すべく努力を
積み重ねて参りたいと存じて
おります。

地域消防について

消防も広域行政として十六
年目を迎えるに至っておりま
す。消防団員九十九名、署員
十三名の組織で町民の生命財
産を災害や火災から守るため
日夜努力しております。消防
施設も逐次整備をして参って
おりますが、本年度は出来潤
地区に防火水槽の新設、第三
分団に小型ポンプ付積載車の
配置、消防署車庫の排気リー
ル等の整備を図って参ります
と共に団員、署員の有事に備
えての日常の訓練や施設整備
の保守点検に心がけ、町民一
人ひとりの火気の取り扱いに
対する認識を高めるための啓
発指導等、今後とも人命尊重
を基本とした消防行政の推進
に努めて参ります。

教育振興

について

社会の変化に

主体的に対応

できる創造性豊

かな人づくり

後程、教育長から教育行政
についての執行方針が述べら
れることになっておりますが
私から基本的な考えを申し上げ
ます。
今、二十一世紀に向けて創
造的で活力ある町づくりのた
めに、社会の変化に主体的に
対応できる創造性豊かな人づ
くりは不可欠であります。従
って将来を担う子供達の教育
環境の整備は勿論のこと、生
涯を通して自ら学ぶという、
生涯教育が更に強調される時
代であり、ふるさと創生事業
とからめて人材育成や、前段
で申し述べた町民プールの新
設等、施設の充実を図って参
りたいと考えており、今後一
層、教育委員会との連携を緊
密にしながら積極的に推進し
て参りたいと存じます。

国保会計

先ず、国民健康保険事業勘定特別会計から申し上げます。当町の国保加入者は、九一世帯で三、四三二人で、全人口に占める割合は六十二％で渡島管内で国保加入率は一位となっております。このこと
 によって、当然医療費の伸びが高くなっております。増高する医療費を抑制するため安定化計画によりレセプト点検の強化、医療費多額世帯の訪問指導、更には保健施設活動の強化等、医療費の安定化、適正化に努めて参りました。
 その効果により平成元年度分の医療費は幾分抑制傾向にあります。元年度分約三千万円、累積分では約八千四百万円の赤字が見込まれております。国保の財政運営は極度に厳しい事態に直面しており、この赤字額を解消するため、保険税率の改正も余儀なくされている現状でありますので、国保運営協議会と充分協議した結果、平成二年度において所得割、均等割、平等割の税率を不本意ながら改正して参りますので、ご理解を賜りたいと存じます。

老人保健会計

老人会計は、国保会計より別建にしたもので、七〇才以上の方と、六五才で特定の障害者として認定された方々の医療費を賄う会計で、現在三四八名おります。
 この会計の構造は、支払基金が七〇％、国が二〇％、道及び町がそれぞれ五％を拠出し運営されております。
 今や平均寿命八十年と言う、世界最長寿命国になり、このような高齢化社会を国民が健康で、生きがいをもち安心して生涯を過ごせるような明るく活力ある長寿福祉社会としなければならぬことはご承知のとおりであります。
 医療費の増加によつては国保会計の財政にも即、影響し、従つて保険税の負担増につながる。医療費抑制に努めなければなりません。これらの対策として在宅老人に対する介護ニーズに対応できる家庭奉仕員の資質向上を図り、健康に関する疾病の予防、また家庭看護等の指導を推進して参ります。

水道会計

出来潤地区の水量及び水圧不足解消に向け事業着手

二年度実施設計 三年度事業実施

水道事業と致しましては、安全で豊かなおいしい水を町民に安定供給することが使命であります。
 昭和六十三年より関係機関に対して出来潤地区の水量及び水圧不足に対する水道施設の改善整備について、陳情及び要望を重ねてきた結果、この度事業が採択の運びとなりました。平成二年一月に行われましてヒアリングの結果、本年度から三カ年計画で事業実施の見通しであります。事業内容については多少流動的要素がございますが、初年度であります平成二年度は全体事業の実施計画業務、平成三年度以降においては配水管整備事業等の事業が実施される予定となっております。
 この事業が完成することにより出来潤地区への給水は、

水圧及び水量不足が緩和され安定供給が可能となると共に宮浜地区の老朽配水管の更新が行われ適正な水の管理が可能となる見込みであります。また、かねてより地域住民より水量及び水圧不足に対して改善要望されておりました湯の沢地区の配水施設の改良事業を本年度計画実施したいと考えております。この地区は今まで、ポンプにより直接各家庭へ圧送しておりましたが、今度は高台に配水タンクを設けて、そこから自然流下をさせて給水をする考えであります。この事業が完了することによりこの地区への給水が安定供給可能となります。昨年度に引き続き、町内全般にわたり漏水調査を行い、水道水の安定供給と有収率の向上を図つて参ります。

平成元年度の会計の収支につきましても、給水量等の増加による収益の確保と効率的な運営に努力を重ねてきました結果、黒字決算が見込まれております。
 平成二年度につきましても引き続き健全なる経営を維持すべく一層の努力をする所存でございます。

以上、平成二年度の町政執行についての考え方を基に編成致しました平成二年度予算を申し上げますと、

◇一般会計	24億7,892万8千円
◇国民健康保険事業勘定特別会計	4億9,161万4千円
◇老人保健特別会計	2億865万5千円
◇水道事業会計	1億5,272万7千円

(尚、水道事業会計の予算は、収益的収入及び支出・資本的収入及び支出の総額であります。)

と相成ります。以上、平成二年度の町政執行方針を申し述べましたが、本年度の鹿部町の経済動向は誠に厳しいものがあることを踏まえ、私に与えられた使命達成のため渾身の努力を積み重ね、町民皆様の付託と期待に応えて参る所存であります。町議会議員の方々を始め、町民各位の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



佐々木優紀子さん

能代テチさん

皆さんの大切なる
在宅での願いに
応える在宅福祉に
力を入れて
行きます!!

鹿部町のホームヘルパー
が2人体制に
なりました。

快適な老後にお手伝い

誰でも高齢になると体力が
おとろえ、日々の生活や身の
回りのことをするのにつらい
ときがあるはず。高齢化
の進行や核家族化、ひとり暮
らし老人等が増加してしま
す。
ホームヘルパー（家族奉仕
員）は在宅老人家庭に派遣さ
れ適切な日常生活の世話をす
る人達です。
町では、今迄家庭奉仕員と
して委嘱されておりました、
辻村キエさんが高齢のため三
月末日をもって勇退されたた
め、四月一日から福祉事業の
充実をより一層強めるため一
名を増員し、二人体制でホー
ムヘルパー事業を推進するこ
ととなりました。

ホームヘルパーを派遣してほしいとき ~申請から決定まで~

手続き上のフローチャート



平成2年度 休日当番医日程表

診療時間は午前9時 午後4時まで

当 番 医

- ① 砂原町国保病院 ☎(01374)8-3131
 ② 南茅部町国保病院 ☎ 2-3511
 ③ 渡島福祉会リハビリテーションセンター診療所 ☎ 7-3321
 ④ 沢田 医 院 ☎ 7-2105

※ 当番医は番号で表示

4月	日	1	8	15	22	29	30		
	当番医	①	②	③	①	②	④		
5月	日	3	4	5	6	13	20	27	
	当番医	①	②	④	①	②	③	①	
6月	日	3	10	17	24				
	当番医	②	①	②	③				
7月	日	1	8	15	22	29			
	当番医	①	②	④	①	②			
8月	日	5	12	19	26				
	当番医	①	②	④	①				
9月	日	2	9	15	16	23	24	30	
	当番医	②	③	①	②	①	②	④	
10月	日	7	10	14	21	28			
	当番医	①	②	③	①	②			
11月	日	3	4	11	18	23	25		
	当番医	①	②	③	①	②	④		
12月	日	2	9	16	23	24	30	31	
	当番医	①	②	①	②	④	①	②	
1月	日	1	2	3	6	13	15	20	27
	当番医	①	②	①	③	①	②	④	①
2月	日	3	10	11	17	24			
	当番医	②	①	②	③	①			
3月	日	3	10	17	21	24	31		
	当番医	②	③	①	②	①	②		

当番医や診療時間を間違わないようにして下さい。

※ このページは家族のみなさんが見やすいところへ貼っておいて下さい。

鹿部町の観光キャラクター決まる

カールス君

秀峰駒ヶ岳がもたらした軽石と

豊かな海をイメージ

ぼくがカールス君です。
鹿部の観光PRのため
ホスターなどに登場します。



カールス君

よろしくね!!

昨年十月より鹿部のまちの海と山そして温泉など自然がもたらした資源を永遠に地域のため活用し、より一層「豊かなまち」に進展するため、鹿部温泉観光協会が、鹿部の観光にふさわしいキャラクターを募集してまいりました。

応募総数十七点を鹿部温泉観光協会の選考委員会が鹿部のまち、海と山など鹿部のイメージにあつた作品を慎重に選考した結果、『カールス君』が鹿部町の観光キャラクターとして決まりました。

入賞者は次のとおりです。

最優秀賞(一点)

築地 丈士さん

作品名 『カールス君』

佳作 (二点)

正村 嘉浩くん(中・3)

和島 勝美くん(中・3)

(協同作品)

作品名 『リゾート君』

佳作

高本 輝美さん(中・2)

作品名 『黄色の魚』

観光協会では、今後、観光ポスターやパンフレット等多様な使い方をいたします。

応募下さいました方々にお礼を申し上げます。

(鹿部温泉観光協会)

人口動態調査にご協力を!!

◎ 役場戸籍窓口では4月より人口動態調査を実施しております ◎

厚生省では人口動態調査を毎年実施しています。この調査は皆さんからの出生、死亡、死産、婚姻、離婚の各届書をもとに、出生や死亡の状況などを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、届書に職業も記入していただくことになっています。また、死亡届には、併せて産業も記入していただきます。

調査結果は、今後の保健福祉の向上に役立たせるための統計資料として利用されます。

〔調査期間〕

平成2年4月1日～平成3年3月31日までの1年間

〔調査対象者〕

出生、死亡、婚姻、離婚届を出される方々

〔調査方法〕

各届書を出されるときに、それぞれ職業を記入していただきます。

(例) 「一般事務員」、「タイピスト」の方は → 事務職

「小売店主」、「飲食店主」の方は → 販売職

「調理人」、「ウェイトレス」の方は → サービス業

また、死亡届には、漁業、農業、建設業、サービス業といった産業も併せて記入していただきます。

ご存知ですか

国民健康保険制度(5)

—国保で受けられる給付(その2)—

医療費は大切に使いましょう



高額療養費の支給

病気やケガでお医者さんにかかり、医療費が高額になった場合、国保に請求すると、高額療養費が支給されます。

■自己負担額が

5万7千円を超えたとき

国保が負担



- 同じ人が、同じ月内に57,000円以上(住民税非課税者は、31,800円以上)の自己負担金(医療費の3割)を支払った場合、その超えた分について、国保が負担して、あとで払いもどされる。

■印かん、領収書を

持参上、手続を

高額療養費の支給申請手続は、かんたんです。印かん、病院への支払い領収書を持参し、役場民生課国保係で行って下さい。

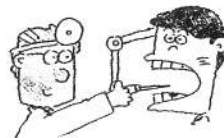
支給を受けるための条件



- ②一つの病院・診療所ごとに計算。(2つ以上を合計することはできません)



- ①月の1日から月末まで、つまり暦月ごとの受診について計算。



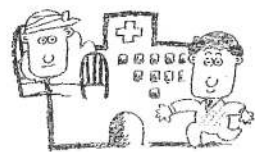
- ④同じ病院で、内科などと歯科がある場合、歯科は別計算。



- ③総合病院の各診療科での医療費は、それぞれ別計算。

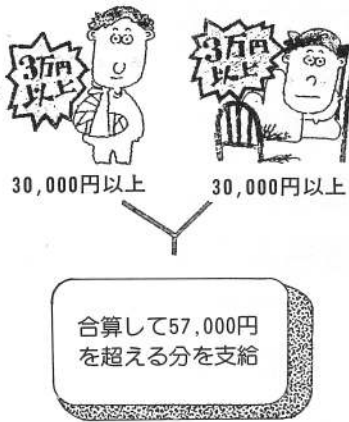


- ⑥保険がきかない差額ベッド料や基準看護の病院に入院したときの付き添い看護料などは、支給の対象外。

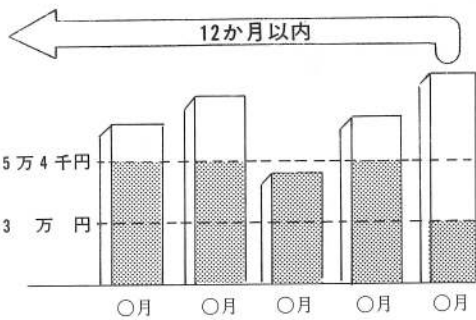


- ⑤一つの病院・診療所でも、通院と入院は別計算。

- 一つの世帯で、病人やけが人が2人以上(国保加入者)いて、同じ月内に、それぞれ医療費として、30,000円(住民税非課税世帯は21,000円)以上の自己負担金を支払った場合、それらの医療費を合算して、合計で57,000円(住民税非課税世帯は、31,800円)を超えた分について、あとで払いもどされる。



■世帯合算ができます



■高額療養費の支払いが4回以上ある場合

4回目以降は3万3千円を超える分を国保が支給

- 過去12か月以内に、一つの世帯で、高額療養費の支払いが4回以上あった場合、4回目以降は、1か月33,000円(住民税非課税世帯は22,200円)を超えた分について、あとで払いもどされる。

鹿部町平成2年度予算決まる

総	額	3,331,924千円 (伸び率%)
一 般 会 計		2,478,928千円 (20.88%)
国 保 会 計		491,614千円 (4.03%)
老人保健会計		208,655千円 (△24.97%)
水 道 会 計		152,727千円 (202.96%)

(注：水道会計予算総額は本年度から、収益的経費と資本的経費の総額となっております)

平成2年度の主な事業項目

鹿部町平成2年度ふるさと創生予定3事業

1. 郷土芸能の発展を目指す ➡ 鹿部大岩奴っ子保存会へ大名籠購入
2. 環境美化の推進を目指す ➡ 道々大沼公園鹿部線の黒松並木整備
3. 人づくりを目指す ➡ 著名人による講演会開催

- ☆水産関係 船揚場整備・漁場基本図作成・並型魚礁設置・投石・ホタテ地場放流敵地調査・ホッキ貝種苗移植放流
鹿部、本別、出来潤分区漁港の整備
- ☆道路関係 本別海岸線、鹿部海岸線、宮浜2号線、本別4号線、出来潤道路線、漁協横道路線、6路線改良工事
大岩1号線、留の沢線、尻無川道路線 3路線の新規着工・出来潤道路線舗装
道直轄事業として道々大沼公園鹿部線改良
- ☆教育関係 町民プール新設・公民館、鹿部会館、出来潤会館の修繕・教職員住宅修繕・小、中グラウンド整備
幼稚園フェンス改修
- ☆農林関係 大岩生活改善センター改修・鹿部地区小規模治山・町有林の保育、下刈・常呂、ムサワ林道改良
- ☆消防関係 出来潤地区防火水槽新設・タンク車配備(贈呈車)・救助機械購入・第3分団に積載車購入
- ☆防災関係 防災行政無線屋外スピーカー町内13ヵ所設置
- ☆環境関係 ホタテ貝殻捨場造成

一般会計総額 24億7,892万8千円の歳入と歳出

歳 出		歳 入	
歳出に占める割合(%)			歳入に占める割合(%)
10.86	総務費 269,142 (△17.79)	その他 172,747 (5.64)	6.97
23.78	教育費 589,557 (128.26)	道支出金 155,745 (19.88)	6.28
5.73	消防費 142,054 (5.56)	国庫支出金 172,396 (15.81)	6.95
13.39	土木費 331,931 (6.58)	町 債 306,800 (107.72)	12.38
7.81	農林水産業費 193,482 (△20.85)	諸 収 入 168,912 (△9.68)	6.81
3.45	衛生費 85,491 (△12.38)	財 産 収 入 183,854 (423.16)	7.42
8.91	民生費 220,861 (△17.02)	地方交付税 995,012 (5.77)	40.14
13.61	諸 費 337,347 (皆増)	町 税 323,462 (8.62)	13.05
8.72	公債費 216,256 (△2.48)		
2.34	その他 57,987 (5.35)		
	↑ 商工費 1.40		
	134,045 (△74.02)		

単位：千円
注・()内の数字は前年伸び率(%)

☆歳入その他の内訳☆

- ◆地方譲与税 37,509 (0)
- ◆利子割交付金 5,200 (0)
- ◆ゴルフ場利用税交付金 38,500 (10.00)
- ◆自動車取得税交付金 16,500 (0)
- ◆国有提供施設等所在市町村助成交付金 5,623 (2.00)
- ◆交通安全対策交付金 500 (0)
- ◆使用料及び手数料 35,915 (△11.05)
- ◆寄付金 2 (0)
- ◆繰入金 32,996 (43.97)
- ◆繰越金 1 (0)
- ◆特別地方消費交付金 1 (皆増)

歳入その他計 172,747

☆歳出その他の内訳☆

- ◆議会費 55,473 (5.70)
- ◆労働費 514 (△8.05)
- ◆予備費 2,000 (0)

歳出その他計 57,987

平成二年度

教育行政執行方針

創造性を育て情操豊かな

人づくりをめざす

○中・長期的展望にたつて

鹿部町教育推進計画策定



教育長 佐々木成克



○鹿部コミュニティー・プール新設
鉄骨造 一部二階建 1,397.87m²
総事業費 3億2千6百万円で
8月オープンをめざす

平成二年第一回町議会定例会にあたり、平成二年度鹿部町教育委員会所管の行政につきまして、その執行に関する基本的な方針を申し上げ、町議会並びに町民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

当町の教育充実振興につきましては深いご理解を頂き、又教育行政執行におきましても関係機関をはじめ各方面から多大なご協力を頂き、お陰をもちまして年々着実に充実に向けて推進されており、この機会に深く感謝を申し上げます。

さて今二十一世紀に向けて目まぐるしく変化する社会環境の中で当町においても人間性豊かな住みよい活力あるまちづくりをめざしており、このために社会の変化に主体的に対応し、心豊かなたくましい人づくりは教育に課せられた使命であり極めて重要であります。このような観点から当教育委員会といたしましてもこれら教育的課題や町民の教育に寄せる期待にこたえるべく、その使命の重大性を認識し生涯学習を基調とし「創造性を育て情操豊かな人づくり

をめざす」というこれまでの方針を継続しつつ、昨年六月鹿部町教育推進計画策定委員会を設置し、中・長期的展望にたつて当町の新しい教育目標や学校教育、社会教育全般にわたつての計画的な推進計画策定について諮問をし、本年三月九日に答申を頂いたところでありますのでその答申の趣旨をふまえて新年度から

1. 新しい時代に生きる心身ともにたくましい人
2. 生きがいのある生活をめざす自ら学ぶ人
3. 自然を愛し、ひとを大切に作る人間性豊かな人
4. 産業の発展と文化の向上に努める郷土を愛する人

の四つの柱とする教育目標を設定し、町民の方々のご理解ご協力を得ながらその実現のために事務局体制といたしましても学校教育、社会教育の連携を一層強め諸施策を講じて参りたいと存じます。

まず学校教育についてであります。幼稚園を含めた小学校、中学校の一貫性を基本とした教育を推進し、知・徳・体の調和のとれた人間形成の基礎づくりとしての教育活動が展開され、その実が期されるよう努力をして参ります。

従つて児童生徒一人ひとりの個性を生かし能力を伸ばし、さらには自ら学ぶ意欲を育てるとともに創造力のある心豊かな人間の育成をめざし、自然とのふれあいや奉仕、勤労、地域交流などの体験学習を通して地域に根ざした教育の推進に力を注いで参ります。

また学校教育の成果は教職員員の努力に負うところが極めて大きいだけに教育実践の指導力や資質向上のための研修活動にもその充実を図つて参ります。

環境整備につきましては、子ども達がよりよく生き生きと学べる教育環境の整備充実に努めて参ります。あわせて教職員もまたよりよい環境の中で生活できるよう住宅環境の整備についても計画的に実施して参りたいと存じます。また健康と安全についてもありますが、学校保健事業に

つきましては、これまでどおり各種健康診断等を実施して健康管理に努めるとともに、いのちの尊さや思いやり、ゆづりあいの心を育む交通安全教育などを進めて参ります。

幼稚園教育につきましては幼児教育の重要性をふまえ、よりよい環境の中で健全な発達を助長するという目的達成のために計画的に教材教具の充実、園舎内外の環境整備、さらには平成二年四月から新しい幼稚園教育要領が実施されますので、その趣旨に沿って一層の充実を図るとともに教職員の資質向上のため研修についても引き続き進めて参りたいと存じます。

生徒指導問題につきましては、今後とも幼、小、中の一貫した重点とし学校と家庭、地域の連携や信頼関係を保ちながら努力を重ねて参ります。

学校給食は学校教育の一環として児童生徒の心身の健全な発達を図るという大きな意義と役割をもっておりますが時代の経過とともに栄養補給体位の向上から健康で豊かな生活づくりのためとその役割も変化しております。

また、教師と児童生徒が食

事を共にする事により心の触れ合い、相互理解を深め、よりよい人間関係や望ましい食習慣を身につけさせるなど他の教育活動とは異なった教育効果も期待されます。従いまして栄養バランスや食事環境等の改善、充実に努めるとともに児童生徒の食事習慣を育成するため学校、家庭の連携を深めて参りたいと考えております。さらに学校給食運営委員会の助言を得ながら地場産物を献立に取り入れ、内容の充実を図って参りたいと存じます。

尚、給食センター調理員の欠員補充につきましては、嘱託制を採用して参ります。

次に**社会教育**であります。先程申し上げましたように社会教育におきましても教育推進計画策定委員会におきまして当町の現状の分析を通して何が問題点なのか、そしてその問題点を整理して課題となるべきものを分野的に検討して頂きました。

平成二年度からその答申に沿って当町の社会教育の推進に努めて参りたいと存じます。具体的な推進内容としては、**まず第一は、「自らを高める社**

会教育の推進」であります。生涯が生涯学習といわれる今日、自らが意欲をもって学ぶ姿勢が基本であります。社会教育行政としては、そのための条件整備を積極的に進めて参ります。

次に対象別の重点としては

- ・地域子供会活動の充実
- ・地域課題の掘り起こしからの青年教育の充実
- ・社会参加活動からの婦人教育の充実
- ・PTA活動を通しての家庭教育の充実
- ・高齢者学習の拡充と生きがい対策事業の推進による高齢者教育の充実

以上を重点として推進して参ります。

**ふるさと創生事業で
大岩奴つ子振り保存
会の大名力ゴ購入。
郷土芸能の推進をめ
ざす。**

第二は「地域に根ざした文化活動の推進」であります。余暇の増大に伴い各種文化

芸術に対する要求は多種多様であり、かつ高度化が一般的な傾向でありまして、これらの要望に応えるための施策を実施して参ります。

平成元年度には、ふるさと創成事業として鹿部太鼓の創設をいたしました。平成二年度におきましては大岩奴つ子振り保存会の大名籠を購入し、その充実を図るとともに従来からある文化活動への援助は勿論のこと、新しい文化活動の創設を文化協会の充実とともに積極的に進めて参ります。

第三は「たくましい心身を育てるスポーツ活動の推進」であります。

いつでもだれでもをモットーとして町民皆スポーツをめざして進めて参りましたが、さらにスポーツ人口の拡大や施設設備の充実につとめて参ります。

国の体育振興策の中で最近特徴的なものとして各種スポーツにおける指導者の資格取得の義務づけがあります。当町といたしましても各種指導者の年次計画による資格取得を進め指導体制の充実を図って参ります。

平成二年度は永年の懸案事項でありました**町民プールの建設が実現**される運びとなり、これで当町の社会体育の分野がさらに拡充されるわけでありますが、その管理運営に万全を期して参りたいと存じます。

プールの内容としましては、水面積四五〇平方メートル、建物面積一、二九七・八七平方メートル、建設費として三億二千六〇五万七千円を当初予算に計上いたしました。町財政厳しい中ではありますが永年の町民待望の施設でもあり、教育環境の充実のためにご理解を頂きたいと存じます。

最後に地域課題として毎年話題となりながらも解決されない**冠婚葬祭の簡素化を含む生活改善運動の推進**であります。現在実践項目として挙げられている内容が守られていない理由や、問題点を再検討し、少しでも改善の方向に向けて努力して参りたいと存じます。

以上平成二年度に向けての教育行政の執行方針を申し述べ、重ねて町議会並びに町民各位のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

9年間の義務教育課程を終え
 未来へはばたけ92名の仲間たち
 就職,進学とそれぞれに歩む道はちがっても

私たちは
 しかべっ子

中・卒業式 3/15



中学校
 式歌
 「この地球を
 花でかざろう」
 全校生徒で合唱



小学生から中学生へ



園児から小学生へ

中学校進路別動向人数

平成元年度 進学率 85%

学 校 名 等	生徒数	学 校 名 等	生徒数
森 高 等 学 校	39	函館大学付属女子商業高校	6
函館 中 部 高 等 学 校	1	函館ラサール高等学校	1
函館 東 高 等 学 校	1	東海大学第四高等学校	1
函館 西 高 等 学 校	3	室蘭大谷高等学校	1
函館 北 高 等 学 校	1		
函館 商 業 高 等 学 校	1	【 各 種 学 校 】	
函館 水 産 高 等 学 校	6	道立函館高等技術専門学校	1
函館 工 業 高 等 学 校	3	函館短期大学調理専門学校	1
函館 工 業 高 等 専 門 学 校	2	【 漁 業 研 修 所 】	
城 北 埼 玉 高 等 学 校	1	函館 漁 業 研 修 所	5
岩 見 沢 高 等 養 護 学 校	1	【 就 職 】	
函館 遺 愛 女 子 高 等 学 校	2	鹿 部 町 内	1
函館 白 百 合 学 園 高 等 学 校	1	北 海 道 外	3
函館 大 谷 高 等 学 校	2	【 家 事 従 事 】	3
函館 大 妻 高 等 学 校	3		
函館 大 学 付 属 有 斗 高 等 学 校	2		

● 児童福祉週間 ● 五月五日～十一日

“子供の心”で子供と会話を

「柱のきずはおとしの五月五日の背くらべ……と童謡「背くらべ」に歌われる五月五日は「こどもの日」。この日から十一日までの一週間は、児童福祉週間です。今年、「地球はステージ 主役は「子供！」をキャンペーン・テーマに全国各地で児童向けの行事が行われます。

この週間は、戦前も一時期行われていましたが、子供たちの健やかな成長を目的とする児童福祉法が、昭和二十二年に制定されたことを契機に再開され、以後毎年実施されています。

家庭の役割がますます大切に
「背くらべ」ができた大正半ばや戦争直後に比べると、いまの子供たちを取り巻く環境は、大きく変わっています。例えば、都市化が進むことで、もともと地域社会がもっていた機能が低下したり、核家族化が進んだりしています。また、女性の社会進出が進んでおり、出生率も低下を続けています。こうしたなかで、子供たちが

豊かな心をもって成長していくためには、家庭の役割がますます大切になってきています。また、学校や行政と地域社会が協力して、子供たちのための環境づくりを目指さなければなりません。そのためには、親子間・親同士のコミュニケーションが最も大切といわれています。あなたは、わが子との会話を大切にしていますか。

子供の人権を保護する 児童福祉法
ところで、「児童福祉法」の基

本的な考え方は二つあります。一つは、「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ、育成されるよう努めなければならない」ということは、「すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」というものです。こうした目的を現実に実現していく行政機関に、児童相談所があります。各道府県に設けられ、全国で百七十か所を数えます。

ここでは、児童についてのあらゆる相談を受け付け、専門家が適切なアドバイスをしたり、さまざまな援助を行ったりしています。お子さんの心配事などを気軽に相談ください。



『ヤン衆丸』 鹿部の海のしぶきがビデオカラオケで流れる

桜田武雄さん
網元役で出演



リハーサル中の
桜田さん

作詩・星野哲郎、作曲・船
村徹による演歌『ヤン衆丸』
のビデオカラオケの撮影がヤ
ン衆丸の歌手・香田晋の本人
の出演で三月十二日、鹿部の
漁港風景や、しぶきをバック
にビデオ撮影が行われました。
鹿部からも字宮浜の桜田武
雄さんが、香田晋ふんする若
衆に「ガンバツて大漁してこ
い！」(声はビデオには流れま
せん。)と激励する網元役で出
演しました。



香田 晋
こうだ しん



『ヤン衆丸』
背中にしぶきの 花を刺し
大漁起こしの 酒をまく
網も新品なら
のぞみもサラだ
俺とおまその 人生を
賭けた門出のヤン衆丸だよ

発行/鹿部町 編集/企画管財課 製作/久保内印刷

戸籍の窓

世帯と人口

平成2年3月31日現在
()は前月比です
世帯数 1,423世帯(-8)
男 2,527人(-16)
女 2,529人(-21)
計 5,056人(-37)



おたんじょう
おめでとう

氏名	父	住所
坂本 弥生	淳弥	本別
長谷川 和也	浩之	宮浜
長根山 翔太	竜一	宮浜
山内 亜未	康央	宮浜
木村 菜摘	力	本別
政坂 友希	裕之	本別
小嶋 明日香	啓悦	宮浜



おくやみ
もうしあげます

氏名	享年	住所
釜澤 定四郎	六八歳	鹿部
畑山 安太郎	六三歳	鹿部
原田 トミエ	六六歳	鹿部
田中 勝三郎	七九歳	鹿部
小林 清	六八歳	鹿部